

組織人員、300人を突破

CU東京が漸く301人の組織となりました。結成から2年4ヵ月となつての成果です。

結成時の組合員登録が52人でしたから、約5.8倍の組織増勢となりました。増勢の要因には各地域の意識的な組織拡大の取り組みと、労働相談体制継続の力があげられます。

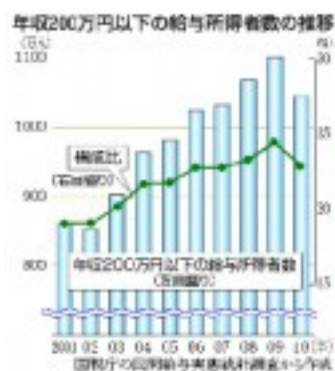
「こうとう支部」は98人（8月末現在）に到達。この間、職場変更、住居移動、経済的事情などで組合脱退者もありましたが、支部大会を節にしながら着実に組織を前進させています。

こうとう支部の取り組みは、他の支部へ影響を与え、文京、練馬、江戸川の地域で30人へ迫る支部づくりがすすめられています。この他の支部においても、労働相談に力を入れつつ、組織拡大への取り組みがすすめられています。

今後も、1000人、20支部の目標実現をめざし、粘り強く組織拡大をすすめていきましょう。

年収200万円以下 5年連続で1000万人超

国税庁の民間給与実態統計調査（2010年分）によると、年収200万円以下の給与所得者は5年連続して1000万人を超えています。



2006年に初めて1000万人を超えています。小泉・自公内閣（2001年）による「構造改革」が、財界・大企業のための規制改革を強行しました。派遣労働者の製造現場への派遣解禁（2004年施行）などにより、低賃金の非正規労働者の割合を増やしま

した。大企業は正社員の非正規社員化を強め、人件費の抑制、収益の増加をはかりました。この時期ワーキングプアの増大が社会問題となり、労働組合などが支援した「派遣村」も出来ました。

民主党政権3人目の野田総理、「ドジョウ内閣」などとのパフォーマンスではなく、国民生活第一の公約実現を望むところです。

（資料・しんぶん赤旗9/20記事）



会場は参加者で一杯（河北新報社の写真から）

9・19さよなら原発集会に6万人

9月19日、「さよなら原発5万人集会」が明治公園で開かれました。集会はノーベル賞作家で「九条の会」の代表委員である大江健三郎さん、作家の落合恵子さん、経済評論家の内橋克人さん、ルポライター鎌田慧さん、作家の澤地久枝さんなどの呼びかけで開かれました。

参加者は予想を超え、全国から約6万人が集まりました。国立競技場周辺の公園にも人が溢れていました。福島県民の方々、全労連、連合、全労協などの労組やNG・市民団体や家族連れなど多様な参加者となりました。

鎌田慧さんは「野田首相は、国連で原発の再開を演説するとしています。しかし、安全性と信頼はすでに破たんしている」、大江健三郎さんは「原子力によるエネルギーは必ず、荒廃と犠牲を伴う。私たちはそれに抵抗する意志を持つていることを、政党の幹部や経団連に、デモで思い知らさねばならない」と訴えていました。

集会後、「脱原発」「原発ゼロ」を訴えるパレードが新宿、原宿、渋谷の3コトスに分かれて出発。最後のパレードが会場を出る時刻は午後5時近くとなり、久しぶりの大集会となりました。